

平成28年度 学校通信

平成28年8月31日

みたけ夢だより

9月号

横浜市立みたけ台小学校

横浜市教育情報ネットワーク【Y・YNET】公開サイト <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/mitakedai/>

前期まとめの月に

校長 長尾 晴美

学校に子どもたちの元気な声が戻ってきました。長い夏休みを終えた子どもたちに、どんな「引き出し」が増えたか楽しみです。この間、花の水やりや、特別水泳への参加などに、ご協力をいただきありがとうございました。花壇の花は夏を乗り越え、元気に子どもたちを迎えてくれました。また、区の水泳記録会、市の水泳大会において、多くの児童が自分の泳ぎや記録に挑戦することができました。

夏休みに入ってすぐ、全国に報道された非常に痛ましい事件がありました。背景にある障がい者への偏見や差別意識が明らかになり、さらに衝撃を受けました。命を奪われた人は、どの人もその人らしく精一杯生きてこられたはずです。被害に遭われた方のご冥福を祈らずにはいられませんでした。

「みんなちがってみんないい」詩人金子みすゞは詩に詠みました。人はみな一人ひとり違うこと、違っていいのだということ。障がいのある人、ない人がお互いを正しく理解し、共に支え合って生きることができる社会にするために、自分の中にある差別意識に気づくことや違いを認め合うこと、自分や他者の命を大切にすることを常に話し合っていくことが学校にできることだと思います。

この夏はリオのオリンピックでたくさんのお名シーンと共に感動をもらいました。どの選手も周りへの感謝を口にし、周りの支えがあったから力が湧いたと語っていた姿が心に残りました。人の感じ方は人それぞれであることは、メダルを手にした選手達からも伝わりました。「銅メダル」で悔しさをにじませている選手もいれば、同じ「銅メダル」を手に入れ喜びの涙でしゃくしゃくしている選手もいました。決して「銅メダル」というだけではくれません。どんな思いでいるのかは、その人が（あるいはその競技が）背負ってきたものや背景にあるものによって違うでしょうし、その人の周りの環境や、どんな努力をしてきたのかを知らなければ分かりません。理解するということは、そのような相手の背景を知った上で、想像することができる力なのだと思います。

9月は、前期のまとめの月です。日々の授業の中で、「聞く：相手の考えや思いを想像しながら正しく聞く力」・「書く：自分の考えや思いを書く力」・「話す：自分の考えを相手に伝えるように話すことができる力」を大切にしていきたいと思います。集団での学びができる学校のよさをいかし、友達の姿や意見から自分の考えを深めたり、語り合ったりする中で、課題解決に向けて主体的に学ぶ姿勢を育てていきたいです。